

平成 25 年度

事業報告書
決 算 書

一般社団法人 静岡県発明協会

平成25年度事業報告

会員数 平成25年4月 1日現在 法人会員86 個人会員54 賛助会員8 計148
平成26年3月31日現在 法人会員87 個人会員54 賛助会員7 計148

1. 発明の奨励に関する表彰及び展覧会

①全国発明表彰

本発明表彰は、皇室より毎年御下賜金を拝受し、そのご趣旨に沿い、発明の奨励、育成を図り、我が国の科学技術の向上と産業の発展に寄与するため、発明協会が主催し、文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会及び朝日新聞社の後援を得て、全国を対象に、独創性に富む極めて優れた発明を完成された方々及び発明の指導、育成に貢献された方々等の功績を称え、表彰している。本県からは3社3件を推薦した。

平成25年度全国発明表彰式

日 時 平成25年6月18日（火）

場 所 ホテルオークラ東京 別館2階「オーチャードルーム」

②関東地方発明表彰

本表彰は、地方において優秀な発明と認められると共に、その実施効果が高く地域産業の向上に寄与された方の功績を顕彰するものである。

本年度の表彰受賞総数は、194件522名で、うち本県関係は下記の一覧のとおり10社9件の特許について推薦した。

平成25年度関東地方発明表彰式

日 時 平成25年11月8日（金）

場 所 ホテル日航新潟（新潟市中央区万代島5-1）

平成25年度関東地方発明表彰受賞者一覧

受賞名	発明の名称	受賞者名	会社名
中小企業庁長官奨励賞	選択吸着性活性炭と製造方法	山下 里恵	静岡県工業技術研究所
		松浦 弘直	株式会社アスカム
		横山 公哉	
静岡県知事賞	自動車用水銀フリーディスプレイ「ヘッドランプ」	市川 知幸	株式会社小糸製作所
		芹田 卓也	
静岡県発明協会会長賞	熱かしめ工法による圧縮機	岩崎 俊明	三菱電機株式会社
		岡田 真紀	
		原 正一郎	
		佐藤 幸一	
		加藤 太郎	
		伏木 毅	

発明奨励賞	減圧鋳造におけるバルブ構造	石黒 拓也	本田技研工業株式会社
		藤原 正光	
発明奨励賞	熱いままでも過冷却冷凍できる冷蔵庫	前田 剛	三菱電機株式会社
		平岡 利枝	
		坂本 克正	
		半田真須美	元 三菱電機株式会社
発明奨励賞	空気調和機の異常検知制御装置	飯島 宏一	三菱電機株式会社
		綾部 克也	
		杉山 肇	三菱電機エンジニアリング株式会社
発明奨励賞	4方向吹き出し型室内機及び空気調和機	遠藤 剛	日立アプライアンス株式会社
		浦田 和幹	
		坪江 宏明	
		出石 峰敏	
		小國 研作	元 日立空調システム
		安田 弘	
発明奨励賞	可変気筒機構ロータリコンプレッサ	川辺 功	東芝キャリア株式会社
		望月 和男	
		平野 浩二	
		高島 和	
		北市昌一郎	T C F Gコンプレッサ・タイ社
		小野田 泉	富士冷熱工業株式会社
発明奨励賞	三相電源高調波低減ユニット	山下 哲司	東芝キャリア株式会社
		小林 壮寛	
実施功績賞		松浦 紘一	株式会社アスカム

2. 青少年の創造性開発及び育成

①学生児童発明くふう展・未来の科学の夢絵画展

当協会と静岡市こどもクリエイティブタウンの共催、静岡県・県教育委員会・関東経済産業局・(公社)発明協会・日本弁理士会・市教育委員会・県市長会・県町村会・(公財)静岡県産業振興財団、各報道機関の後援により、「第61回静岡県学生児童発明くふう展」と、「第36回静岡県未来の科学の夢絵画展」を開催し、平成25年11月1日(金)～11月9日(土)まで、静岡市こどもクリエイティブタウン“まある”において展示会を行った。また、11月10日(日)には、同館において表彰式を挙行了。

ア、第61回静岡県学生児童発明くふう展

我が国の将来を担う児童生徒に、発明くふうの楽しさを体得させるとともに優れた発明くふう作品を顕彰することにより、創造性豊かな人間形成を図る。

	応募数	入選数
小学生	39点	16点
中学生	48点	14点
合計	87点	30点

上記県展で入選した作品の内から、小学生10点、中学生10点を第72回全日本学生児童発明くふう展に推薦出品し、次の方々が受賞した。

受賞名	題名	学校名	学年	氏名
奨励賞	片手でパッチン 置きちやうスプーン	浜松市立上島小学校	小5	加藤さくら
奨励賞	いつでもサラサラ!! 保存びん	浜松市立二俣小学校	小5	新聞美夢華
入選	ことはせんようの のびるすいどう	富士市立大淵第二小学校	小1	山田祐士郎
入選	熱感知警報機	富士市立吉原小学校	小6	井出佳佑
入選	よごれない便利ポンプ	富士市立富士南中学校	中3	下村南奈
入選	安全薬専用スプーン	富士市立富士中学校	中3	深澤彩花

イ、第36回静岡県未来の科学の夢絵画展

未来の科学に関する夢を絵画として表現させるとともに優れた作品を顕彰することにより、次代を担う児童生徒の科学的な探求心と創造力の伸長を図る。

	応募数	入選数
小学生	31点	15点
中学生	26点	10点
合計	57点	25点

上記県展で入賞した25点を、全国展の第36回未来の科学の夢絵画展へ推薦し、次の方が受賞した。

受賞名	題名	学校名	学年	氏名
奨励賞	ゴミひろいバード	静岡市立水見色小学校	小3	渋川世廉

ウ、後援

児童の創造性開発育成のため、下記に対し後援した。

- 1) 第48回富士市発明くふう展後援
- 2) 第27回島田市小中学生アイデア工作展後援
- 3) 第31回湖西発明くふう展並びに第20回湖西未来の科学の夢絵画展後援
- 4) 第35回浜松市小・中学生発明くふう展後援

3. 知的財産権制度の普及啓発

県及び関東経済産業局から受託した産業財産権に関わる事業を実施し、産業財産権制度の普及啓発に努めた。

① 知的財産流通促進事業（県からの受託事業）

今年度は、新規訪問先企業を増やして新規支援先企業を開拓することと、既支援先企業での知財活用意識の定着を図るべく、既支援先企業のフォローも行って別件支援に繋げることに心掛けて活動し、訪問件数、マッチング件数は、昨年度実績および今年度目標値を上回ることができた。

特徴的なのは、特許シーズから始まる旧来スタイルの特許流通が少なくなっていることと、窓口支援担当者の連携要請などから、複数の当事者が関係する案件における発明発掘ないし出願準備の段階から関与し、各当事者の立場や事情を踏まえて調整し、契約につなげると云うケースが増えていることである。

成約に関しては、今年度目標値を達成することができなかったが、ライセンス交渉中に拒絶理由通知が発せられ、一旦ご破算になりかけた案件をリカバーして契約に結び付けた案件などもある。

その他、事例紹介の講演を積極的に引き受けたり、INPIT事業下の静岡県立科学技術高等学校での知財授業を支援する有志の数を増やして、同授業は学校設定科目として1単位が与えられるようになり、先生と生徒を発明者とする発明相談も受けることができた。

活動項目	目標	実績	達成率	参考 (H24年度)
訪問企業件数	260	282	108%	259
来訪指導件数	74	63	85%	74
マッチング件数	38	47	124%	38
成約件数	18	16	89%	21
事業化件数	9	9	100%	9
講習／講演等	21	30	143%	24
合計	420	447		425

実施体制：特許流通アドバイザー 1人

② 知財総合支援窓口（特許等取得活用支援事業） 関東経済産業局からの受託事業

中小企業等が抱える知的財産権に関する悩みや課題をワンストップで解決できる支援を行うため、知財総合支援窓口を設置した。

ア、支援の対象

中小・ベンチャー企業及び個人事業主、創業予定の個人（以下、「中小企業等」という。）を対象として実施した。

イ、実施体制

中部（本部）1名、東部（沼津支所）1名、西部（浜松支所）1名

ウ、知財専門家の活用

窓口支援担当者は、中小企業等の悩みや課題を解決するため、知財専門家と共同して、窓口での相談支援や中小企業等に直接訪問して解決支援を行った。

1) 候補者の選定

知財専門家の選定にあたっては、弁理士、弁護士及び産業財産権に関する高度かつ専門的知見を有する知財OBや中小企業診断士等、当協会が保有する人材データベースや特許庁その他支援機関が保有する人材データベースを活用し、課題解決に適した人材を選定した。

2) 活動概要

知財専門家は、窓口支援担当者、支援機関等と十分な打ち合わせ（課題の把握、支援先企業の状況等）を行った上で、事業活動の各段階における様々な課題に対応する解決方法等について適切な

指導・助言を行い、解決支援を行った。

エ、支援実績

項目	目標	実績	達成率	参考(H24年度)
窓口相談受付	1,600件	1,862件	116.4%	1,423件
企業訪問	190件	198件	104.2%	157件
①有効に活用できていない中小企業支援	80件	133件	166.3%	97件
②海外展開を計画する中小企業支援	25件	18件	72.0%	-
③：①、②以外	85件	47件	55.3%	-
専門家との共同支援	130件	119件	91.5%	138件
専門家派遣	90件	91件	101.12%	71件

1) 窓口相談受付

目標値 1,600 件に対し実績は 1,862 件であり、達成率は 116.4% と大幅に伸び、昨年度に比べ、439 件の増加となった。

2) 訪問等

目標値 190 件に対し実績は 198 件と 8 件上回った。訪問のうち、財産を有効に活用できていない企業の訪問支援が、133 件と昨年度に比べ 36 件増加した。

3) 知財専門家による支援実績

知財専門家による支援実績は、弁理士 208 件、弁護士 2 件、技術士 1 件、特許流通アドバイザー、コーディネータ 140 件、技術コーディネータ 7 件、経営コーディネータ 81 件及び海外知的財産プロデューサー 14 件となっている。

オ、窓口支援担当者会議

原則、毎月上旬に窓口支援担当者連絡会議を開催（年 12 回）し、連絡事項の説明と課題・問題点などについて協議、検討し情報交換と意思の疎通を図った。

カ、電子出願支援用端末機器利用実績

電子出願支援用端末機器利用実績は、年間を通じて毎月ほぼ同様の利用状況で推移をしている。職業別では、中小企業の利用が 120 人中 93 人（77.5%）と大半を占めており、地域別では、電子出願支援用端末機器を設置する静岡市の利用が 59 人と最も多く、窓口が周知されていることと利便性が大きく影響をしていることが考えられる。

キ、公的機関、支援機関との連携の実績

1) 連携した公的機関・支援機関等

連携した公的機関及び支援機関は下記のとおりである。

静岡県、静岡市、浜松市、沼津市、（公財）静岡県産業振興財団、（公財）浜松地域イノベーション推進機構、（公社）静岡県国際経済振興会、静岡県中小企業団体中央会、各商工会議所、静岡県商工会連合会、静岡県工業技術研究所、大学等研究機関、日本弁理士会、金融機関

2) 連携会議等の開催状況

支援機関との連携強化を図るため、知財総合支援窓口事業支援機関連携会議を 2 回開催した。会議の参加者は静岡県、静岡市、浜松市、沼津市、（公財）静岡県産業振興財団、（公財）浜松地域イノベーション推進機構、東部地域イノベーションセンター、（公社）静岡県国際経済振興会及び当協会から、各機関の管理者や担当者が集まり、本事業の目的を再確認し、それぞれの活動

状況や共同支援の実例、課題や問題点、今後の活動方法などについて協議・検討が行われ、より一層連携強化が図られた。

(会議開催日)

第1回 平成25年5月30日

第2回 平成25年11月1日

ク、事業の周知、広報活動の実績

1) ホームページの整備

静岡県発明協会のトップページに「知財総合支援窓口」のバナーを設け、主な支援内容とともに、窓口担当者や支援事例の紹介をしている。また、連絡先や案内地図も表示できるようにしており、事業の周知に努めた。

2) 事業内容リーフレット等の作成

見開きA3のリーフレットを、合計3,000部作成、配布した。配布先は、商工会議所、商工会等の支援機関や金融機関等である。

3) 広告媒体の活用

公益財団法人静岡県産業振興財団が発行している「融資・助成金等の手引き」に知財総合支援窓口の紹介について掲載した。

4. 公報等各種情報提供

① 特許情報サービス (25.4~26.3)

ア、特許公報類の閲覧サービス

区分	公開特許	公開実用新案	公告特許	公告実用新案	特許公報	実用新案	登録実用新案	意匠公報	商標公報	その他	合計
件数	137	68	115	68	120	66	75	46	142	22	859

イ、特許公報類の複写サービス

区分	公開特許	公開実用新案	公告特許	公告実用新案	特許公報	実用新案	登録実用新案	意匠公報	商標公報	その他	合計
件数	112	4	33	0	6	0	6	695	1	209	1,066

ウ、特許情報オンラインサービス (NRIパテントサービス)

種別	検索サービス	照会サービス	合計
回数	21	0	21

② 県内の特許公報等分類別動向調査 (25.4~26.3)

区分(注1)	A	B	C	D	E	F	G	H	合計
公開特許公報	377	1,038	119	25	139	619	660	924	3,901
特許公報	269	806	123	23	112	382	721	889	3,325
登録実用新案公報	70	40	3	1	26	19	15	19	193
公表特許公報	1	1	1	-	-	-	-	-	3

再公表特許公報 (注2)	14	36	15	1	0	28	10	21	125
合計	731	1,921	261	50	277	1,048	1,406	1,853	7,547

(注1) A = 生活必需品. B = 処理操作・運輸. C = 化学及び冶金. D = 繊維及び紙
E = 固定構造物. F = 機械工学・照明・加熱・武器・爆破. G = 物理学. H = 電気

(注2) PCT (国際特許協力条約) に基づく国際出願の内容を日本語で公表した公報

③先行技術調査の奨励

特許や実用新案の出願時における事前調査並びに特許審査請求時における事前調査を奨励、実施した。

④特許公報類の閲覧サービス

特許電子図書館システム (IPDL) や特許情報オンラインサービス (NRI サイバーパテント) を利用した特許公報類の閲覧・複写サービスを行った。

5. 知的財産権に係わる人材育成等セミナー・講演会・交流会

研究者や企業関係者等を講師に迎えた講演会を開催し、講師との交流や実践的な連携により、県内企業の知的財産権に係る啓発と利活用の促進を図った。

ア、研究会活動 「産業財産権実務関連研究部会 (通称：パテント部会)」

県協会会員の産業財産権関連実務の向上を目的として、毎月第3水曜日に会員による事例発表や弁理士等による実務講演会並びに工場見学等を開催し、産業財産権に関わる実務の研鑽に努めた。

回数	月 日	講演会・研究会等	参加者	会場
第1回	平成25年4月25日	パテント部会年次報告 2013知財トピックス 講師：アウル国際特許事務所 弁理士 倉澤 直人 氏 石垣特許事務所 弁理士 石垣 春樹 氏 (公財) 静岡県産業振興財団 茂木 一真 氏 特許流通アドバイザー 風間 泰寛 氏 講演会 「先駆発明の実用化から、新たな茶発酵手法の展開まで」 講師：(株)リバーソン 代表 河村 傳兵衛 氏	28名	ペガサート
第2回	平成25年5月23日	研究会 「特許こと始め#1～事例に学ぶ技術者に効く特許活用～」 講師：特許流通アドバイザー 風間 泰寛 氏 アウル国際特許事務所 弁理士 長谷川 和家 氏	19名	ペガサート
		研究会 「知財のお悩み相談室 こんな時どうしよう？」 司会進行：石垣パテントサービス 石垣 明彦 氏	16名	
第3回	平成25年6月28日	記念講演会 「モノづくり中小企業を活性化する4つの秘訣」 講師：(株)エンジニア 代表取締役社長 高崎 充弘 氏	30名	静岡県産業 経済会館

第4回	平成25年7月17日	研究会 「特許こと始め#2～特許調査のいろは」 講師：石垣パテントサービス 石垣 明彦 氏	22名	ペガサート
		「叙勲発明とその出願に学ぶ」 講師：特許流通アドバイザー 風間 泰寛 氏	11名	
第5回	平成25年9月18日	講演会 「発明の捉え方～特許への翻訳とそのコツ～」 講師：一燈国際特許事務所 所長 弁理士 橘 和之 氏	53名	ペガサート
第6回	平成25年10月23日	講演会 「発明の捉え方～特許への翻訳とそのコツ～（続編）」 講師：一燈国際特許事務所 所長 弁理士 橘 和之 氏	47名	ペガサート
第7回	平成25年11月22日	見学会 ①（独）宇宙航空研究開発機構（JAXA）相模原キャンパス ②（株）アマダ	17名	
第8回	平成25年12月18日	講演会 「大企業による知財マッチングの取り組みについて」 講師：富士通（株）知的財産権本部 ビジネス開発部長 吾妻 勝浩 氏	28名	ペガサート
		企業紹介 講師：キヤノン（株）生産技術本部 生産設計技術センター 生産設計企画課 課長 小島 博美 氏		
第9回	平成26年2月20日	勉強会 「著作権法を学ぶ・事例問題を討論」 司会進行：アウル国際特許事務所 弁理士 長谷川 和家 氏	17名	ペガサート
第10回	平成26年3月19日	勉強会 「著作権法を学ぶ・事例問題を発表」 司会進行：Sun Lingmu Office 鈴木 直博 氏 講演会 「著作権侵害について」 講師：中川国際特許事務所 弁理士 中川 裕幸 氏	21名	ペガサート

6. 会議等

- (1) 会計監査 平成25年5月16日 当協会
- (2) 総会 平成25年6月28日 静岡県産業経済会館
- (3) 理事会 平成25年5月24日 静岡県産業経済会館
平成25年11月19日 静岡県産業経済会館
- (4) パテント部会幹事会
平成25年4月25日 他8回

(5) 関東地方発明表彰選考委員会

平成25年9月4日 ホテル日航新潟

(6) 関東地方発明表彰式典

平成25年11月8日 ホテル日航新潟

7. 機関誌「知財情報しずおか」の発行

平成25年6月3日 2013 VOL.1 No. 9

平成25年9月3日 2013 VOL.1 No. 10

平成25年12月2日 2013 VOL.1 No. 11

平成26年3月3日 2013 VOL.1 No. 12

貸借対照表

一般社団法人静岡県発明協会

平成 26 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	948,807	2,556,424	▲ 1,607,617
未収入金	13,029,546	28,712,177	▲ 15,682,631
流動資産合計	13,978,353	31,268,601	▲ 17,290,248
2. 固定資産			
特定資産			
発明奨励等助成金	19,857,044	27,906,430	▲ 8,049,386
退職給付引当資産	4,521,994	4,245,120	276,874
特定資産合計	24,379,038	32,151,550	▲ 7,772,512
固定資産合計	24,379,038	32,151,550	▲ 7,772,512
資産合計	38,357,391	63,420,151	▲ 25,062,760
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	665,967	458,078	207,889
預り金	948,807	1,258,235	▲ 309,428
短期借入金	0	23,861,000	▲ 23,861,000
未払消費税	1,098,000	0	1,098,000
流動負債合計	2,712,774	25,577,313	▲ 22,864,539
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,521,994	4,245,120	276,874
固定負債合計	4,521,994	4,245,120	276,874
負債合計	7,234,768	29,822,433	▲ 22,587,665
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
発明奨励等助成資産	19,857,044	27,906,430	▲ 8,049,386
指定正味財産合計	19,857,044	27,906,430	▲ 8,049,386
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	19,857,044	27,906,430	▲ 8,049,386
2. 一般正味財産	11,265,579	5,691,288	5,574,291
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	31,122,623	33,597,718	▲ 2,475,095
負債及び正味財産合計	38,357,391	63,420,151	▲ 25,062,760

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	[3,447,500]	[3,382,500]	[65,000]
法人受取会費	2,685,000	2,620,000	65,000
個人受取会費	697,500	687,500	10,000
賛助会員受取会費	65,000	75,000	▲ 10,000
② 事業収益	[45,855,083]	[44,909,960]	[945,123]
発明奨励事業収益	400,000	400,000	0
情報サービス複写事業収益	45,886	113,513	▲ 67,627
情報サービス刊行物事業収益	110,246	209,389	▲ 99,143
情報サービス検索事業収益	117,340	105,815	11,525
受取都道府県補助金Ⅱ	0	500,000	▲ 500,000
都道府県受託収益Ⅰ	9,370,665	9,370,335	330
局受託収入・特許等活用支援事業	35,613,281	33,900,842	1,712,439
特許庁請負事業収益Ⅰ	197,665	210,066	▲ 12,401
その他受託事業収益Ⅰ	0	100,000	▲ 100,000
③ 受取発明奨励等	[8,099,386]	[9,688,825]	[▲ 1,589,439]
受取表彰発明奨励等	50,000	1,940,000	▲ 1,890,000
受取助成金振替額	8,049,386	7,748,825	300,561
④ 雑収益	[803,691]	[499,232]	[304,459]
受取利息	7,211	7,002	209
雑収益	796,480	492,230	304,250
経常収益計	58,205,660	58,480,517	▲ 274,857
(2) 経常費用			
① 事業費	[51,080,880]	[51,754,281]	[▲ 673,401]
発明奨励発明展事業費	2,299,185	1,685,960	613,225
発明奨励表彰式事業費	1,719,359	4,292,262	▲ 2,572,903
発明普及会員管理費	378,173	495,454	▲ 117,281
特許制度普及事業費	1,602,020	1,770,603	▲ 168,583
特許情報発信事業費(複写事業)	5,072	46,398	▲ 41,326
特許情報発信事業費(刊行物事業)	71,302	143,653	▲ 72,351
特許情報発信事業費(情報検索事業)	4,300	18,863	▲ 14,563
都道府県受託事業費Ⅰ	9,370,665	9,370,335	330
特許等活用支援事業	35,613,281	33,900,842	1,712,439
特許庁請負事業費Ⅰ	17,523	29,911	▲ 12,388
② 人件費	[1,678,290]	[2,810,929]	[▲ 1,132,639]
給料手当	1,045,943	1,917,879	▲ 871,936
法定福利費	319,899	577,424	▲ 257,525
退職給付費用	276,874	272,800	4,074
福利厚生費	35,574	42,826	▲ 7,252
③ 事務費	[3,109,770]	[3,101,464]	[8,306]
水道光熱費	823,758	807,283	16,475
通信費	225,810	234,552	▲ 8,742
賃借料	449,820	525,420	▲ 75,600
運送費	2,911	913	1,998
旅費交通費	22,226	94,330	▲ 72,104
消耗品費	484,913	258,330	226,583
図書費	32,200	32,200	0
会議費	196,740	195,823	917
支払手数料	445,854	349,782	96,072
租税公課	193,161	191,809	1,352
雑費	232,377	411,022	▲ 178,645

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
④ 他勘定振替	[▲ 3,237,571]	[▲ 3,077,624]	[▲ 159,947]
他勘定振替	▲ 3,237,571	▲ 3,077,624	▲ 159,947
經常費用計	52,631,369	54,589,050	▲ 1,957,681
当期經常増減額	5,574,291	3,891,467	1,682,824
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	5,574,291	3,891,467	1,682,824
一般正味財産期首残高	5,691,288	1,799,821	3,891,467
一般正味財産期末残高	11,265,579	5,691,288	5,574,291
II 指定正味財産増減の部			
① 一般正味財産への振替額	[▲ 8,049,386]	[▲ 7,748,825]	[▲ 300,561]
一般正味財産への振替額	▲ 8,049,386	▲ 7,748,825	▲ 300,561
当期指定正味財産増減額	▲ 8,049,386	▲ 7,748,825	▲ 300,561
指定正味財産期首残高	27,906,430	35,655,255	▲ 7,748,825
指定正味財産期末残高	19,857,044	27,906,430	▲ 8,049,386
III 正味財産期末残高	31,122,623	33,597,718	▲ 2,475,095

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当資産無し

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当資産無し

(3) 固定資産の減価償却の方法
該当資産無し

(4) 引当金の計上基準
退職給付引当金: 職員の退職給付に備えるため期末時点における職員に対する退職給与の自己都合要支給額を計上

(5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
発明奨励等助成特定資産	27,906,430	0	8,049,386	19,857,044
退職給付引当資産	4,245,120	276,874	0	4,521,994
合 計	32,151,550	276,874	8,049,386	24,379,038

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
発明奨励等助成特定資産	19,857,044	(19,857,044)	(—)	(—)
退職給付引当資産	4,521,994	(—)	(—)	(4,521,994)
合 計	24,379,038	(19,857,044)	(0)	(4,521,994)

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

補助金等の名称	金額
経常収益への振替額 特定資産取崩収入	8,049,386
合 計	8,049,386

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2において記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	4,245,120	276,874	0	0	4,521,994

財産目録

一般社団法人静岡県発明協会

平成 26 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	普通預金 静岡銀行 本店	源泉徴収税等	948,807
	未収金	静岡県 関東経済産業局 (一社)発明推進協会 (一社)発明推進協会	知的財産流通促進事業費残額	1,370,665
			特許等取得活用支援事業費残額	11,584,281
			戦略的マネジメント促進事業セミナー役務費	72,600
		ワンストップサービス事業協力金	2,000	
流動資産合計				13,978,353
(固定資産) 特定資産	発明奨励等助成資産	静岡銀行 本店	発明奨励事業等に使用	19,857,044
	退職給付引当資産	定期預金 静岡銀行 本店	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	4,521,994
固定資産合計				24,379,038
資産合計				38,357,391
(流動負債)	未払金	静岡年金事務所 NRIサイバーパテント通信 補助員 NTT-ME 事務局長 静岡銀行本店 日本GE(株)	3月分社会保険料	340,902
			静岡県知的財産流通促進事業費	26,250
			関東経済産業局特許等取得活用支援事業費人件費	101,400
			関東経済産業局特許等取得活用支援事業費プロバイダ料等	2,520
			関東経済産業局特許等取得活用支援事業費旅費	13,560
			専門家謝金等振込手数料	8,505
			出願端末機器借料費	172,830
	預り金	静岡銀行 本店	源泉徴収税等	948,807
	未払消費税	静岡税務署	25年度消費税	1,098,000
流動負債合計				2,712,774
(固定負債)	退職給付引当金	定期預金 静岡銀行 本店	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	4,521,994
固定負債合計				4,521,994
負債合計				7,234,768
正味財産				31,122,623

監査報告書

平成25年度事業報告並びに正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録を監査した結果、定款及び各規定に基づいて適正かつ正確に処理されていることを確認致しました。

平成26年5月8日

監事 石田 稔 

監事 中村 仁 